

しょうひせいかつ かつどうほうこく
こども消費生活サポーター活動報告せいさんしゃほうもん
第1回生産者訪問

2023. 8. 19(土) oryza-farm 株式会社

『こども消費生活サポーターは、
「つくり手」(生産者)と「つかい手」(消費者)をつなぎます』

8月19日(土)に、oryza-farm 株式会社(青南町4-15-6)代表の松下明弘さんの田んぼを訪問し、有機農業についてお話を伺いました。

米ぬかやおから、魚かすなどを発酵させた自家製の肥料へのこだわりや、アイガモロボットを使い、農薬を使わずに雑草を生えにくくする工夫、田んぼを起す深さを5cm以内にする事で、温室効果ガス(メタンガス)の発生を抑えることができるなどのお話から、松下さんの有機農業への思いを感じました。

おいしい米づくりのための取組が、微生物に始まり様々な生き物が共存する豊かな田んぼづくりや、環境に配慮した行動につながることを学びました。

サポーターからは、お米はなぜ水の中で栽培するのか、国内で一番多く作られている米の品種はなにか、などについて質問がありました。

○サポーターが感じた「つくり手」(松下さん)の思い

- ・安全で質の高いおいしいお米を作りたい
- ・みんなに美味しく食べてもらいたい

○サポーターが「つくり手」に伝えたいこと

- ・安心安全なお米をつくってくれてありがとう
- ・おいしいお米が食べられるのは生産者の皆さんのおかげです
- ・環境に良くておいしいお米をこれからも作ってください



☆アクション宣言☆

～消費者としてのこれからの行動～

- ・学校給食でも家でも残さない
- ・環境にいい物を買う
- ・自分がものを作る仕事についたら、お客様が安心できる工夫をしたい
- ・みんなに美味しいお米を食べてもらいたい
- ・安いものではなく、環境にいいもの、日本のものを買って地産地消したい
- ・生産者の方に感謝の気持ちを込めて消費する

